

実施期間	実用化開発場所	連携自治体
2019-2021	南相馬市	-

株式会社イノフィス

## 空気圧で動く人工筋肉とマッスルスーツの 技術を応用した介護・医療機器を開発

累計2万台以上を出荷しているマッスルスーツで培った機構設計・製造に関する固有技術やノウハウ(コスト・品質・安全性・装着感など)を活かした介護・医療機器モデル(自立支援、機能訓練、可動域回復)の実用化開発を行います。

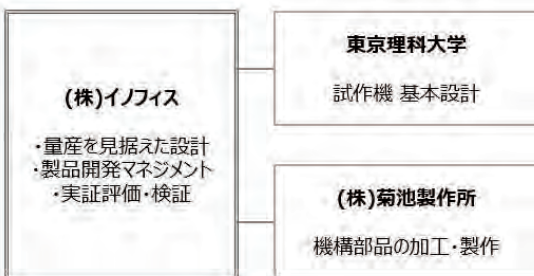


代表取締役社長  
折原 大吾

**開発背景** 国内約500万人のフレイル高齢者に対して、要介護への予防効果のある起立・歩行動作支援や、脳・脊椎損傷者への機能回復効果のある他動的に部位を動かす運動訓練を支援する機器開発を行っています。

実用化時期	令和4年度(2022年度)
販売製品・サービス名	「アクティブ歩行器」 「マッスルスーツ 機能訓練モデル」
成果物(最終年度)	「アクティブ歩行器」「マッスルスーツ 機能訓練モデル」の実証評価完了
創出される経済効果	南相馬市の地元企業に本開発製品の部品製造を依頼することによる地元企業への売上貢献と地元雇用の拡大を計画

要素技術	マッスルスーツや人工筋肉などのキーパーツで培った機構設計・製造・品質・安全性・装着感の良さなどの固有技術・ノウハウの介護・医療機器への転用
開発のポイント	リハビリ動作支援が認められているマッスルスーツの基本機能を活用し、介護・医療機器での効果検証を反映した低価格な機能訓練機器を製品化します。



### 浜通り復興に向けたメッセージ

本事業化の達成により、マッスルスーツはリハビリや医療へも適用できる「人の自立を促すロボット」であることを実証し、浜通り地域からそれを発信していきます。

浜通り地域への経済波及効果	雇用数	実績	-
		今後の予定	2名(うち、現地雇用者1名)
地元企業との連携	拠点立地件数(立地場所)	1件 ※福島市に福島研究所を設置	
	R&D・開発	機器ハードウェアの試作を地元企業に一部依頼(菊池製作所)	
	資材調達	機体部品を地元企業1社より調達(ラプラス)	
	製造	量産化部品の一部製造を地元企業1社で検討中(菊池製作所)	
	販路開拓	ソフトウェアの制作を地元企業に依頼(福島コンピューターシステム)	

成果品・試作品	「アクティブ歩行器」「マッスルスーツ機能訓練モデル」「足首足指CPM装置」の各試作機
知的財産権	2件(特許権 出願中)
開発技術	空気圧で駆動する人工筋肉を用いた身体装着型アシスト装置、及びその技術
自治体との連携実績	-
代表的な企業との連携実績	-
メディア露出や受賞歴	受賞歴：ふくしま産業賞(2020年度)

**連絡先**  
株式会社イノフィス |  
福島県南相馬市小高区飯崎南原65-1  
(株)菊池製作所 南相馬工場  
☎ 024-572-3133(担当:中川誠也)  
✉ s-nakagawa@innophys.jp



投資規模 1~5億円  
開発人数 10~29名  
販売時期 令和4年度(2022年度)  
販売形態 本開発機体と関連サービスメニューの提供  
販売見込先 未定  
協業希望先 フィットネス関連企業、医療機器関連企業(具体的には未定)